

令和2年度 1学期を終えて

4月7日（火）に令和2年度、1学期の始業式を行いました。3月2日から新型コロナウイルスによる感染拡大防止のために休校となり、年度末・年度始休業後の久しぶりの登校日でした。2～6年生76名の子ども達が元気にそろいました。

始業式では、同級生との再会や2～6年までの全児童と教職員が元気に集うことができたことを喜び合いました。また、新型コロナウイルス感染防止の取り組みに励みながら、1年生9名を含めて全校85名の長瀬小学校のみんなが、「元気」「やる気」「笑顔」いっぱいな毎日になるようにがんばってほしいことを伝えました。

8日には、入学式を挙行了しました。卒業式同様、在校児童や来賓の参加はなく、新入生9名と保護者、教職員での入学式でした。式の中で2年生が制作してくれた学校生活の様子について紹介するビデオを視聴したり、前日までに在校児童や教職員で新入生の入学を歓迎する掲示物を掲示したりして、元気な1年生9名をみんなでお迎えする温かい式となりました。



その後、新年度がスタートしたばかりなのですが、新型コロナウイルスによる感染防止対策として、4月9日から5月17日までの期間、臨時休業となりました。

4月17日（金）から4月30日（木）の期間は、【「密閉」「密集」「密接」】を防ぐために10地区を4ブロックに分けて、地区ごと登校の分散登校による2時間の授業を行いました。



4月27日から29日の3日間で、個別面談を行いました。年度当初に保護者と担任で面談し、子ども理解を深める機会とさせていただきました。

家庭訪問は、4月16日（木）と、5月1日（金）に行いました。

5月11日（月）から14日（木）までは、10地区を2ブロックに分けて3時間の授業を各2日間、15日（金）は6年生のみを対象として午前授業を行いました。

5月18日（月）は今年度初めて1～6年生85名と教職員がそろうことができました。朝会で、85名の全校児童がそろって学校生活がスタートしたことの喜びを分かち合いました。また、かけがえのない生命を守るために、新型コロナウイルスによる感染防止の取り組みをこれからもがんばることを確認しました。



ようやく6月1日（月）から、通常の学校生活を再開することができました。

これまで、年度当初計画した多くの行事が中止となりました。子ども達が楽しみにしている活動や活躍の機会が減ることは、とても残念でありませんが、世界中で緊急事態となっている現在、何よりも生命を守ることを柱ととらえ、安全最優先で学校生活を充実させるように努めて参りました。

その中でも、活動のねらいが達成するように内容を工夫したり縮小したりして開催することができた活動もたくさんありました。





今後も、子ども達やご家族、教職員とその家族、長瀬地区の皆様のおかげがない生命を守るため、【「密閉」「密集」「密接」を防ぐ】を図り、感染防止に努めて参ります。また、県教委からの通知（別紙）をもとに、今年度は、中止の対応や参加者を児童、教職員（行事によっては児童、

教職員、保護者）に限るなど内容を縮小しての開催となる教育活動となることもあることをご理解くださいますようお願いいたします。



現在、2学期に計画している主な行事は、次の通りです。

- (1) 運動会（9/12）は、児童、教職員、保護者（参観）が参加し、児童種目のみ工夫して実施する予定です。
- (2) 学習発表会（10/31）は、発表内容を検討し実施する予定です。体育館内が参観者で三密にならないように、参観者は保護者に限らせていただきますようご協力ください。
- (3) ウォークラリー（10/16）は、児童と教職員のみで実施する予定です。
- (4) 芋煮会（10/16）は調理方法を工夫し、児童と教職員のみで実施する予定です。
- (5) 祖父母学級（11/20）は、中止いたします。
- (6) 5年生の収穫感謝祭は、内容を工夫して実施する予定です。

(7) 修学旅行は、栃木県内でコロナ感染者が発生していることから、旅行先を変更し、平泉・庄内方面（宿泊は庄内）で計画しています。

(9) 個別面談（12/21～23）は、予定通りに実施します。

(10) 校外事業のイングリッシュキャンプ、小学校合同音楽会は中止です。なお、小学校自由研究発表会は、今年度から発表会は開催せず各校での発表となりました。

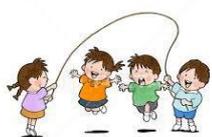


始業式や終業式などには、いつも子ども達に、「元気のある子（挨拶をしっかりできる子）」「やる気のある子（目標を持ってそれに向けてがんばる子）」「笑顔いっぱいの子（困っている人を助けてあげる子）」になってほしいと話しています。

作家の中井俊巳さんは、『人生が好転する5つの口癖』として、日常的に使えて、効果抜群の言葉を5つあげています。それは、「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」「〇〇していいですか」「よかった」という言葉です。

「おはよう」「さようなら」の挨拶に加えて「前向き・肯定的・感謝の心」の言葉も自分から進んで発することで、毎日の生活をいっそう明るく楽しいものにしてほしいと思います。

子ども達はこの1学期間、日常の生活行動や学習の場面でいろんな制約がある中でも前向きに活動しました。現実を素直に受け止め、今、自分や自分たちがすべきことやできることを一生懸命頑張りました。その子ども達のがんばりに頭が下がるとともに、子ども達からたくさん元気をいただきました。



喜びや嬉しい時は、共感することで喜びが増し、辛いとき、悲しいときには手を携えて、支え合うことで心が救われます。このことが自然にできる感性がある人は、多くの人から愛され、将来どのようなところであっても幸せに生きていくことができます。

保護者の皆様、お子様が、人から愛される人に成長するよう、困った人には手をさしのべることができる子どもになるよう、これまで同様、教え導いてくださるようお願いいたします。例年とは違う教育活動となった1学期でしたが、本校教育活動にご理解を賜り、ご協力いただきまして厚く感謝申し上げます。また、引き続き今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

校長 水田 浩